



薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は6,500名を超える会員が全国各地で活躍しております。現在同窓会の活動は、主にwebを利用した医療薬学セミナーや将来ビジョン講座などを薬剤師支援センターと共催で行っております。また、同窓会準会員である在学学生に対して、薬剤師国家試験対策講習会の追加や実務実習のケース代の補助そして国家試験に向けての勉強が本格化する5年生に対して、6年生の講義でも用いる薬剤師国家試験参考書(薬学セミナー発行の青本)の補助など様々な支援を行っております。一方、昨年は全国17支部(道内7、道外10)と医療薬学セミナーやその地域での薬業や医療に関する情報交換を行ったところです。今年度は全国の会員を対象とした拡大研修会及び埼玉県さ

〈創立年:1979年 会員数:約6,500名〉

いたま市で開催される第57回日本薬剤師会学術講演会に合わせて同窓会の懇親会を開催したいと考えております。薬学部同窓会は会員数の増加により、道内支部の細分化と道外の卒業生が減少していることから本州支部の統合やブロック化を含めた検討を進めております。今後は、しばらく開催を控えていた「卒業生・在学生合同懇談会」や「大学教員との情報交換会」など徐々に再開をしたいと考えております。

■ <https://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~phalumni/>
■ yaku-dousoukai@hoku-iryuo-u.ac.jp



歯学部
同窓会長
袁 隆宏

歯学部

平素、皆様におかれましては北海道医療大学歯学部同窓会の理念・活動に対して深いご理解と多大なるご協力のほど誠にありがとうございます。お陰様で今春、41期生が無事卒業し47期生が晴れて入学され会員数は準会員の学生を含め3800名を超えるまでの組織となりました。これもひとえに会員はめいめ大学並びに諸団体の関係各位のご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。今年の始まりはとて悲しく辛いものでありました。元日の夕方に起きた能登半島地震では多くの方が被災され本当に苦しく悲しい思いをなされ、今なお続くご苦労にはどのような言葉を送ってよいのか分かりません。しかし、本会会員ご本人が被害を受けられるという大変な環境の中にも関わらず、口腔医療の責任を果たすべく、現状で行える治療と誤嚥性肺炎の予防に奔走されておられることは本当に頭が下がります。我々の誇りであり誉れである心から敬服する次第です。翌2日のJAL機の事故も含めて健康で過ごす当たり前の日々は決して当たり前ではないのだということ改めて教えてもらいました。「会員の福祉と親睦そして学術向上さらには学部の発展に寄与」することを目的に運営されている本会も本年秋に設立40周年を迎え、これまでの歩みを振り返ると感慨深いものがございます。この間、疾病構造の変化や周辺機器の発展など歯科界を取り巻く環境はもちろん、それに加え社会全体の価値観や人口動態の変化など、「在り方」や「やり方」が大きく変わりました。

〈創立年:1984年 会員数:約3,800名〉

た。このような環境の中で今年秋に開催する記念事業のテーマは「ON YOUR MARK〜次なるステップへ〜」、激動の40年を振り返ることによって来たる50周年がどんなものを創造する機会のひとつになればとの思いからです。また、コロナ禍で38、39、40、41期生の謝恩会が残念ながら開催出来なかったリベンジを含め、全ての同窓会会員及び関係者各位がこの4年分を少しでも取り戻すことが出来ればと思います。この集いがお一人おひとりの節目になることを願っております。そして、今年は本学創立50周年にあたる記念の年を迎えます。昨年飛び込んできた本学の北広島市ボールパークへの増設のビッグニュースを取り上げるマスコミ報道を通して、そのインパクトの大きさを感じたところでした。本会として移転に向けてどんなお手伝い出来るのかをしっかりと考えて、学生の幸せと母校発展の力になりたいと存じます。同じ学舎で学んだ仲間の緩やかなが本部同窓会と考えておりますが、これは学舎が変わったとしても本質は同じですので、今後とも協力ご指導を賜りますように衷心よりお願い致します。全ての方々のご多幸を心から願い歯学部同窓会からのメッセージと致します。

■ <http://www.hoku-iryuo-u.com/> ■ dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
■ 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

平素より同窓会活動については、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで本会(福慧会)の活動も令和9年(2027年)で30周年を迎える運びとなりました。偏りに頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様の協力の賜です。この場をお借りして深く御礼申し上げます。さて、今年度は看護福祉学部が30周年を迎えた節目の年であり、本同窓会も学術大会の開催を通じて関わりを持つことができました。同窓会活動としては昨年度に引き続きコロナ禍の影響は受けましたが、無理のない範囲内で「withコロナ」として活動できた一年でもありました。私たち同窓会役員自身が医療従事者として各地域の保健・医療・福祉・教育等での現場を支えるエッセンシャルワーカーの一員であるため、私たちが倒れこまないことが何よりも大切なことだと感じています。今年度は再稼働した動きが止まらないよう、役員会をはじめとした会議やセミナー等の定期開催や出席を基盤に、3年後に控える30周年を視野に入れた同窓会活動の展開に

〈創立年:1997年 会員数:約2,800名〉

ついで意見交換を継続してきました。これまで同窓会活動の根幹と考えてきた「同窓会名簿」の発行に係る協議をはじめ、本活動を安定的に継続するための体制づくりに関すること、そして活動の担い手となる後任候補の募集や定着方法など議案は尽きませんが、今がまさに検討が必要な時期だと考えています。令和6年は明けて早々、能登半島地震による大規模な被災により全国の様々な支援関係者が災害派遣をはじめとした活動を通じて携わっているところです。本同窓会は様々な場所で活躍する同窓生の一助となる活動を目指し、将来を見据えた活動を展開していきたいと考えております。活動30周年を一つの節目、目標達成の時期と設定し、活動の意味やその必要性を考えながら、会員が相互交流できる仕組みづくり力を入れていきたいと考えております。今後も引き続き福慧会をどうぞよろしくお願ひ致します。

■ <https://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~kango/> ■ kango@hoku-iryuo-u.ac.jp



臨床福祉学部
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部／福祉マネジメント学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

平素より、同窓会活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、同窓会活動の命題はつながりをつくることにあると思います。その命題を果たすべく活動として、ひとつに再び大学や同窓生とつながるきっかけの場として、総会や同窓会セミナーIがあります。2023年は5月に対面とwebを併用して開催することができました。アクセシビリティは高く、つながりがさらにつながりを生み出します。セミナーIIは、9月に看護福祉学部学会の運営協力しました。そして、これから大学とつながるきっかけづくりとして、「病院で働く相談のしごと講座」の企画運営があります。4年前にこの企画に参加した学生が医療大へ入学し、現在はこの講座の学生スタッフとして活躍しています。3月のコラボ講演会も、他学部同窓会とつながる共同企画です。このような企画に参加することは世代を超えてつながるきっかけにもなります。今後は、横とつながりをつながり続ける企画として、小

〈創立年:2000年 会員数:約2,226名〉

規模同窓会事業運営も行いたいと計画しています。少人数で大学の教員を含む同窓会を開催する際に助成します。ぜひ広く活用していただきつなごうを大切にしていきたいと考えています。2023年は学部設立30周年にあたる年でもありました。同窓会企画として、大友芳恵先生、鈴木幸雄先生、向谷地生良先生とゆかりある3名の恩師からメッセージ動画を頂戴しました。先生方は、地域に根をしっかりと張り、福祉を耕し、医療大と創造的で新しい可能性を生み出し広げて欲しいという心を伝えてくださいました。未来の同窓生に、医療大のハングリー精神を同窓会としてもつないでいきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくご指導ご鞭撻の程お願ひ申し上げます。

■ <https://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~fukudo/> ■ fukudo@hoku-iryuo-u.ac.jp



臨床心理学部
同窓会長
上河邊 力

心理科学部／臨床心理学部

平素より同窓会活動への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当同窓会では、本年度も同窓会セミナーの開催や在校生向け進路相談会、新入生歓迎会の開催を継続実施しています。昨年度までは動画配信サイトやビデオ会議システムによるオンラインでのイベント開催に限定していましたが、今年度からいよいよ対面での開催も再開しました。同窓会セミナーに関してはオンラインと対面によるハイブリッドとし、全2回のセミナーに200名近い方々にご参加いただきました。特徴的なのは、道外にお住まいの同窓生や医療大学以外で心理学を学ぶ学生、医療大学出身ではない専門職の方々も多くご参加いただいている点です。北海道医療大学臨床心理学科の名前を全国の多くの方々に知っていただくことができました。医療大の卒業生が同窓会を通して強い結びつきを持っている様子をお見せできたのではないかと感じています。大学院については、定員が20名に

〈創立年:2006年 会員数:約715名〉

増員されました。今後、医療大からより多くの心の専門家が飛び立つこととなります。同窓会では学部生の同窓生の皆さんを対象とした活動をより一層増やしたいと考えています。具体的には、公認心理師の働き方ややりがいといった現場のリアルな声をお届けできる機会を設けていきたいと考えています。そうした機会をきっかけとして、大学院への進学、公認心理師資格取得を目指す方が1人でも増えてくれたらとても嬉しいことです。当同窓会へも引き続きご支援を賜りますよう、謹んでお願ひ申し上げます。なお、同窓会公式LINEアカウントへの登録がお済みでない同窓生の方は、この機会に是非ご連絡ください。

■ <https://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~p.dousou/>
■ shinri-dousoukai@hotmail.co.jp



理学療法学科
同窓会長
白幡 吏矩

リハビリテーション科学部／理学療法学科

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力くださり、誠にありがとうございます。日頃から活動に対して積極的にご協力頂いている本会役員をはじめ、他学部同窓会の皆様、本学関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。本会は2024年4月に、設立から8年目を迎えます。卒業教育の一環として、本会開設より開催しているセミナーは感染症の流行が落ち着いた約3年ぶりに対面で開催となり大変好評をいただきました。また、卒業生や理学療法学科教員の皆様にご協力をいただき、学術支援事業、臨床のお悩み相談会、有志による勉強会、日本理学療法士協会の卒業研修制度への支援、卒業研究発表会への賞の提供など、卒業生ならびに在学学生の日々の活動を後押しすべく、新たな事業を打ち出して参りました。最近では、本会の活動を通して生まれたいろいろを感じ

〈創立年:2017年 会員数:約383名〉

エピソードが届くようになり、本会の活動に少しずつごたえを感じております。一方で、ライフスタイルの変化などにより、これまで長きにわたり本会を支えてきてくださった役員様の退任を経験するようになり、新たなメンバーで安定して活動を継続するための体制作りを進めております。2026年、設立10年の節目に向け、本会会員、今後迎える新たな卒業生たちの卒業後のサポート体制をさらに充実させていきたいと考えています。引き続き後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の皆様にご指導を頂きながら、本学の発展、本会会員のさらなる活躍の一助となるべく活動して参ります。

■ <https://iryoudaippt.web.fc2.com/> ■ iryoudaippt@gmail.com

〈創立年:2017年 会員数:約240名〉



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション学部／作業療法学科

作業療法学科同窓会は、令和6年度で開設より8年目を迎えます。設立初年度より顧問である作業療法学科近藤美教授、他学部同窓会役員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。現在は約240名の同窓会員で活動しており、今後も毎年30～40名とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携をとりながら、当同窓会が同窓生、在学生、在学生のつながらる場としてあり続け、発展していくことを願っております。昨年12月には本学作業療法学科鎌田樹寛教授をお招きし、「認知症対象者との関わり方～作業療法の視点に基づいて～」と題しご講演を頂きました。参加された同窓生からは久しぶりに講義を受け、「学生時代は理解に苦しんだが、働いた今先生の話がスッと入ってきました。学生時代に戻ってもう一度授業を受けたいで

す」といった自身の臨床と照らし合わせ非常に参考になったとご好評頂きました。3年間続いたコロナ禍により、同窓会活動も大きく変化をして参りました。今後も感染対策を念頭に置きつつ共存しながら医療者として活動していくことが求められます。同窓会としても対面活動などを徐々に取り戻し、同窓生の皆様へ還元できるよう同窓会セミナー等の開催も検討して参ります。最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会役員の皆様のご理解、ご協力の下に当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ <https://ot40-jp.webnode.jp/>
■ hokuiryodai.ot@gmail.com

〈創立年:1994年 会員数:約1,400名〉



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部・リハビリテーション学部／言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立され、会員数1400名を超える大きな会になっております。講演会の企画・運営と年に2回の会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を行ってまいりましたが、2020年より主だった活動を休止しておりました。今後は同窓会セミナーの開催を目標に活動再開を予定しています。他学部同窓会と合同開催の講演会「口から食べられる理想に向かって」の企画運営については継続し、3月に対面とオンライン併用で開催しております。毎年多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございます。同窓会の運営に関し、日頃より後援会の皆

様が内外の先生方のご理解・ご協力を賜り、深く御礼申し上げます。この度の本学の北広島への移転計画を知り、一卒業生として初めは大変驚きました。計画の詳細をうかがい、新しい土地のメリットを活かし、今後も一層時代に求められる優れた医療・福祉人の育成を通じて、地域社会に貢献してゆく本学の未来の姿を想像し、大きな期待を抱いております。同窓会としてお役に立てることがあれば、大いに協力して参りたいと存じます。

■ st-kai@hoku-iryu-u.ac.jp

〈創立年:2023年 会員数:約70名〉



臨床検査学科
同窓会長

古高 裕導

医療技術学部／臨床検査学科

平素より医療技術学部同窓会のご活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。医療技術学部では昨年の春、一期生が北海道医療大学を卒業し、北海道を中心とした各地で活躍しております。そして今年の春、二期生が臨床検査技師として新たに社会へ羽ばたくことをとて嬉しく思っております。二期生は特にコロナ禍による影響を大きく受けた学年でした。満足に大学へ足を運べなかつたり、交流の輪を広げにくい状況が続いたり苦勞も多かったと思えます。学年の垣根を超えた交流が持ちつらかつた分、医療技術学部同窓会が同窓生、在学生そして大学をつなぐ場として皆さんをサポートしていきます。本会は開設して間もない、まだまだ発展途中の同窓会ですが、二期生の皆さ

んが加わることでより活発な会にして行けることを期待しています。今年から医療技術学部同窓会としての活動を本格化していきます。同窓生の要望に応え、細胞検査士を目指す卒業生へ向けたオンラインでの勉強会や、エコー検査を始めた人を対象としたミニレクチャーや本学にあるファントムや実機を用いたハンズオンセミナーを卒業教育の一環として企画・予定しております。その他にも認定資格取得へ向けた勉強会や、最新の臨床検査をテーマとしたセミナーなど、より充実した学べる環境を整備し、北海道医療大学からより良い臨床検査を広げていけるよう活動して参ります。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	石原 敦(3)
道南支部	吉田 元(12)
釧根支部	羽田野 貴志(11)
オホーツク支部	森谷 俊憲(13)
胆支支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部	杉本 雅規(3)
神奈川支部	萩原 秀男(5)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

*北越支部 支部長代理

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 ☎018-887-3988
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会 ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	亀田 智(4)	亀田歯科 ☎0282-55-5118
群馬県支部		
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	姥名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

■看護福祉学部

☎0133-23-1211

- 看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
- 福祉マネジメント学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

■心理科学部・リハビリテーション科学部

☎0133-23-1211 (学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)

- 臨床心理学科
- 作業療法学科
- 理学療法学科
- 言語聴覚療法学科

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	粟津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10)	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
近畿地区	瀧本 智明(17)	とも歯科医院 ☎06-6654-6831
広島県支部	新谷 宏規(16)	新谷歯科医院 ☎082-285-1007
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	池田 周平(20)	池田歯科 ☎0954-26-8400
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

*京都府支部 支部長代理



歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本同窓会の運営に対し、ご理解ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。1991年に既卒者を中心に結成され、ほんの僅かの人数で同窓会がどのようなか?どんなことをするのか?全くわからぬままスタートした本同窓会も30年の時を重ね会員数は1,300名を超える大所帯となりました。30年を超えて会を無事運営できたのも会員の皆様のご協力と日々会の運営のために努力を惜しまない理事や代表者、皆様のおかげであると感謝しております。2023年、人々を苦しめていた新型コロナウイルス感染症が感染症法5類へ移行し、人の流れや動きが徐々に大きく幅広くなったのと同じく対面型同窓会セミナーを再開し、総会、理事会を経て新しい役員を迎えることができました。これまで会の運営を担ってきた年長者たちとは、異なる教育を受け、柔軟な考え方を学び新しい文化や物事に対して臨むこととくチャレンジして行くことができる素敵な方々です。歯科衛生士教育は、大きく変わ

〈創立年:1991年 正会員数:約1,339名、準会員:19名、特別会員:8名〉

りました。教育年限は3年以上となり4年制大学も何校も存在します。それぞれの大学には教授として教鞭をとる歯科衛生士もたくさんいらっしゃいます。1948年に制定された歯科衛生士法には、第二条 この法律において「歯科衛生士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、歯科医師(歯科医業をなすことのできる医師を含む。)の指導のもとに歯牙及び口腔の疾患の予防処置...と記載されていますが、既に歯科衛生士は臨床のみでなく教育、研究、企業など幅広い範囲で活躍しています。これらもとに常に社会のニーズに応え教育を行い、その移り変わりをしなやかに受け止め続けてきた先人たちの努力の賜物であると感謝しております。2024年新しい教育を受け、新しい考えを有する皆様と共に一歩を踏み出し、同窓会が会員の皆様にとってより有益な会であるように努力いたします。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~katakuri/> ■ okahashi@hoku-iryu-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部 地域連携課 ☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryu-u.ac.jp